

## 外国語活動・外国語科学習指導案フォーマット

○年—Unit ○

単元名

「活動例素案」の単元目標を記載。

1. 単元目標
- ・○○○○○ (知識・技能)
  - ・○○○○○ (思考力・判断力・表現力)
  - ・○○○○○ (学びに向かう力・人間性)

## 2. 言語材料

○○ ( )

「年間指導計画例素案」の表現例(児童の発話例)を○○に、語彙例を( )に記載。

○○ ( )

単元ごとに、該当する領域別目標を記載。

## 3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	<p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする</p>
読むこと	<p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。</p> <p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。</p>
話すこと (やり取り)	<p>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする</p>
話すこと (発表)	<p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p>
書くこと	<p>ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p>

4. 単元計画 (○時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) (■ = 誌面化されている活動)	■ 指導上の留意点 ◎ 評価の観点<方法>
1	<p>◆英語での挨拶や…。</p> <p>○「○○」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで、…。</li> <li>・指導者は、…。</li> </ul> <p>【Let's Watch and Think】○○○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>○「○○」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>【Let's Listen 1】○○○</p> <p>【Let's Chant】“○○”</p>	<p>■○○○○</p>
2	<p>挨拶の表現に…。</p> <p>○「○○○」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで、…。</li> <li>・指導者は、…。</li> </ul> <p>【Let's Listen 2】○○○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>○「○○」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>【Activity】○○○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             行動観察 発表観察 など         </div> <p>◎ グループでセリフを考えオリジナルの物語を作る 〈行動観察〉</p> <p>◎ ○○○&lt;○○○○&gt;</p>
3		
4		
5		
6		
7		
8		

Unit ○—Lesson 1 単元名 1/○時間  
 目標 ○○  
 準備 教師用絵カード (種類), ワークシート (No. ~), デジタル教材, 振り返りカード, ○○

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
	・ ○ 「○○。」	・	デジタル教材
	【Let's Listen 1】 p. ○ ・	・ ・ 《評価の観点〈方法〉》	教師用絵カード (○ ○) デジタル教材
	○ 「○○」 ・ ・	・ ・ ・	
	【Let's Play】 p. ○ ・	・ ・ 《評価の観点〈方法〉》	デジタル教材 ワークシート (No. ~)
	【Let's Chant】 “Hello!” p. ○・	・	デジタル教材
	・ 本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。・ 挨拶をする。	・ 児童の～について称賛する。 ・ 挨拶をする。	振り返りカード

単元計画に表記したものを再掲。  
 行動観察  
 発表観察  
 など

・ 活動例素案をもとに、指導案を作成。  
 ・ 必要に応じて、活動のねらいや指導上の留意点、評価の観点等については、指導者の活動の欄に記載。

Unit ○—Lesson 2 単元名 2/○時間
目 標 ○○
準 備 教師用絵カード (種類), ワークシート (No. ~), デジタル教材, 振り返りカード, ○○

時 間	児童の活動	指導者の活動	準備物
	・ ○ 「○○。」	・	デジタル教材
	【Let's Listen 1】 p. ○ ・	・ ・ 《評価の観点〈方法〉》	教師用絵カード (○ ○) デジタル教材
	○ 「○○」 ・ ・	・ ・ ・	
	【Let's Play】 p. ○ ・	・ ・ 《評価の観点〈方法〉》	デジタル教材 ワークシート (No. ~)
	【Let's Chant】 “Hello!” p. ○・	・	デジタル教材
	・ 本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。・ 挨拶をする。	・ 児童の~について称賛する。 ・ 挨拶をする。	振り返りカード

評価規準、評価方法など、次期学習指導要領の下での学習評価については昨年12月の中教審答申の指摘（※）を踏まえ、今後の国における具体的な検討を受けて追記する予定であり、今回のフォーマットでは示さない。

（※）昨年12月の中教審答申の主な指摘

- 観点別評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理する
- これらの（3つの）観点については、毎回の授業で全てを見取るのではなく、単元や題材を通じたまとまりの中で学習・指導内容と評価の場面を適切に組み立てていくことが重要。
- 学習評価の工夫改善に関する参考資料についても、詳細な基準ではなく、資質・能力を基に再整理された学習指導要領を手掛かりに、教員が評価規準を作成し見取っていくために必要な手順を示すものとなることが望ましい。そうした参考資料の中で、各教科等における学びの過程と評価の場面との関係性も明確にできるよう工夫することや、複数の観点を一体的に見取ることも考えられることなどが示されることが求められる。
- 指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組みさせるパフォーマンス評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要。
- 「主体的に学習に取り組む態度」については、子供たちが自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげるといった、学習に関する自己調整を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしていたりしているかどうかという、意思的な側面を捉えて評価することが求められる。